

総務大臣

高市 早苗 様

要 望 書

令和元年11月13日

福島県いわき市長

清水 敏男

日頃より、市勢進展のため、御支援・御協力を賜り、心から感謝を申し上げます。

さて、当市では、台風第19号に伴う大雨により、去る10月12日から13日にかけて、さらには同月25日夜間の豪雨により、市内各所で河川堤防の決壊・越水による水害や土砂災害が発生いたしました。これに伴い、尊い人命が失われましたほか、災害時の拠点となる支所や、約50,000戸への給水を行っている浄水場が浸水被害により機能が停止するなど、市民生活に甚大な被害を受けました。

当市といたしましては、現在、市民・事業者・各種団体と力を結集するとともに、自衛隊や全国各地の自治体などからの暖かい御支援もいただきながら、懸命な復旧活動、そして被災された方々の生活再建支援に全力で取り組んでいるところであります。

つきましては、東日本大震災で受けた被害の影響が残るなか、再び大災害に見舞われた当市の状況を御賢察のうえ、次の事項について、特段の御支援を賜りますようお願い申し上げます。

【要望項目】

台風第19号により被災した支所の復旧に係る財政支援について

当市の北部に位置する小川地区（人口約6,600人）におきましては、今回の台風第19号により夏井川が決壊・越水し、当該地域における行政機能はもとより、災害時の拠点となる「小川支所」が、床上1.7メートル程度浸水し、庁舎の使用が困難な状態となっております。

小川支所機能の復旧につきましては、現在、最優先に取り組まなければならない課題であり、また、浸水した当該支所について、将来にわたって災害時の拠点としていくことについては適切でないものと考えております。

今回の台風第19号に伴う災害につきましては、激甚災害に指定されるなど、甚大な被害を受けたところでありますが、支所機能の復旧等につきまして、一般単独災害復旧事業債などによる財政支援を、幅広くお願いいたします。

【被災状況】



令和元年10月13日撮影